

2021. 11. 2

< 配信枚数2枚 >

報道関係者 各位

東アジアグローバルリーダー育成「キャンパスアジア・プログラム」
文部科学省 令和3年度大学教育再生戦略推進費「大学の世界展開力強化事業」
～アジア高等教育共同体(仮称)形成促進～に3期連続採択

立命館大学文学部の「東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス」事業が、文部科学省の「令和3年度大学教育再生戦略推進費『大学の世界展開力強化事業』～アジア高等教育共同体(仮称)形成促進～」に3期連続採択されました。

これまでの日中韓3大学のトライアングルに加えて、新たに国内有数のグローバル大学である立命館アジア太平洋大学(APU)とも連携し、日中韓4大学のカルテットで東アジアにとどまらない、英語圏も含めたグローバルリーダーの育成を目指します。

本件のポイント

- 本プログラムは、文部科学省の「大学の世界展開力強化事業」に3期連続採択
- 中国、韓国、日本の大学が連携し、日中韓共同運営移動キャンパスを実現
- 新たに立命館アジア太平洋大学(APU)と連携したプログラム展開により、東アジアのみならず世界で活躍できるグローバルリーダーを育成

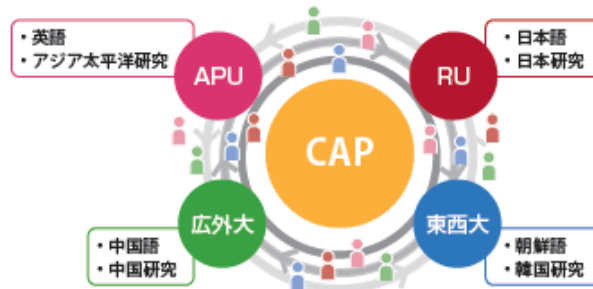
●文部科学省「大学の世界展開力強化事業」とは

「大学の世界展開力強化事業」は、国際的に活躍できるグローバル人材の育成と大学教育のグローバル展開力強化のため、高等教育の質の保証を図りながら、日本人学生の海外留学と外国人学生の受け入れを行う国際教育連携の取り組みを支援することを目的とした文部科学省による事業です。令和3年度は、日中韓3カ国に加えてASEAN諸国の大学との間で、質の保証を伴ったプログラムを実施する事業が対象となります。今回、本学は平成23年度に開始した「キャンパスアジア・プログラム」を発展させた新プログラムを提案し、採択されました。

●事業の内容(詳細は別紙をご覧ください)

本事業は、日中韓の政府・質保証機関・大学が協力して、大学の国際競争力を共に向上させるために質の保証を伴った大学間交流を展開する事業です。本年度から5カ年計画で、立命館大学(RU)協定校である韓国の東西大学校 International College(東西大)、中国の広東外語外貿大学 日本語言語文化学院(広外大)、および立命館アジア太平洋大学(APU)との連携を強化し、アジア域内の高等教育制度の相違を超えて、国際的通用性を備えた質の高い教育を目指します。

【日中韓移動キャンパス(2年間)】



以上

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、文部科学記者会

●取材・内容についてのお問い合わせ先

立命館大学広報課 担当:名和 TEL.075-813-8300 Email. r-koho@st.ritsumeikan.ac.jp

別紙

「東アジアグローバルリーダー養成のための、日中韓共同運営移動キャンパス」事業内容

■人材育成目標

日中韓、全ての言語・文化・歴史・社会を深く理解し、英語のスキルも可能な限り加えた高いコミュニケーション能力を発揮しつつ、互いの立場や考え方を尊重する中で、文化的な国際交流や教育研究の分野、経済分野など国際協働の場で今後活躍できる優秀な人材を養成することを目標とする。

■プログラムの構成

キャンパスアジア・プログラムにおける従来のカリキュラムで運営する「キャンパスアジアコース」を基盤としつつ、新たに2つのコースを新設し、全3コースで運営する。

①キャンパスアジアコース

(対象学生:東西大、広外大各20名/学年、立命館大学18名/学年)

2カ国へ2年間留学、3言語運用能力習得(従来型プログラム)。本プログラムの基盤となるコース。

②アジアグローバルコース(新設)

(対象学生:立命館大学、東西大、広外大、①より各1名/学期)

2カ国へ2年間留学、うち1学期をAPUで学び、4言語運用能力を習得。①キャンパスアジアコースで移動キャンパスに1年以上参加した本コースを希望する学生から、語学条件をクリアした優秀層を選抜する。

③インテンシブアジアコース(新設)

(対象学生:APU、2名/通年)

言語習得をメインとし、同時にキャンパスアジアコースの日中韓学生と共修するコース。2カ国に1年間留学。参加要件に語学を含めないなど、より多様な学生の参加・共修を促進する。

